NOMURA

インターンシップのご案内

野村で、アセットマネジメントビジネスを経験してみよう。

日本を代表する資産運用会社である野村グループの「野村アセットマネジメント」では、夏のインターンシップ参加者を募集いたします。資産運用業のスペシャリスト集団のなかで、将来性の高い アセットマネジメントビジネス（資産運用業）を経験してみませんか？

― 募集要項 ―

対　　象：大学生・大学院生
実施期間：2013年8月8日～9月15日の内5～7日間 （プログラムにより異なります）
※就業時間は、8時40分～17時10分です。

募集人数：計20名

プログラム内容：
(A)企業調査分析を行うアナリスト業務ならびに株式運用のサポート業務
(B)クオンツ運用・パッシブ運用のサポート業務
(C)計量分析によるリサーチ業務
(D)クレジットアナリストのサポート業務ならびに債券運用のサポート業務
※各プログラムの詳細につきましては、別紙をご参照ください。

応募資格：資産運用業務に関心が高い方。知識は問いません。
※インターン実施前に就業規則の遵守や機密保持等に関する「誓約書」をご提出いただきます。

選考方法：書類等選考の後、面談を実施

勤務場所：東京都中央区日本橋1－12－1　野村アセットマネジメント株式会社

報　　酬：なし（国内交通費のみ実費支給。遠方の方については宿泊場所を提供。）

応募方法：インターンシップへの参加を希望される方は、氏名・大学名・学部・学科・電話番号を記載の上、下記e-mailアドレスまで、メールをお送りください。
エントリーシートを含む、選考の詳細について、追ってメールにてご連絡致します。

参加希望 e-mail 締切：2013年6月24（月）必着

野村アセットマネジメント株式会社　人事部 インターンシップ担当
E-mail：recruit@nomura-am.co.jp

野村アセットマネジメント

2013年度 野村アセットマネジメント株式会社　インターンシップ詳細

コース	受け入れ部署	人数	日程	日数	テーマ	テーマ内容
A	企業調査部 株式運用部	6名	2013/8/26(月)～8/30(金)	5日間	企業調査分析を行うアナリスト業務ならびに株式運用のサポート業務	金融や経済の知識のない人が企業分析を基礎から学ぶ、初級者コースになります。実際に社内で行われた企業研究をケースとして、企業分析の実務を体験していただきます。最終的には、関係者向けのプレゼンテーションを実施していただきます。プログラム内容は、企業分析の基礎知識の学習や応用をはじめ、ケーススタディや当社アナリストとの会議等を予定しております。
B	開発商品運用部 インデックス運用部	4名	2013/8/19(月)～8/23(金)	5日間	クオンツ運用・パッシブ運用の業務体験ならびにサポート業務	開発商品運用部・インデックス運用部では、多様化する運用ニーズに応えて伝統的なアクティブ運用以外の様々な手法で商品を提供しています。その内容は内外株式・債券・コモディティ指数のパッシブ商品から定量クオンツモデル運用やオプション戦略等多岐に渡ります。インターンの方々には、運用手法の分析・考案、新商品案の作成等を最終目標に取り組んでいただき、プレゼンテーションによる報告を実施していただきます。また、各商品のポートフォリオや売買案件の作成、そのために必要な情報収集等の運用業務体験を行い、それらの経験を通して投資対象商品や投資信託/投資顧問等の運用形態についての理解を深めていただきます。
C	投資開発部	3名	2013/8/8(木)～8/16(金)	7日間	計量分析によるリサーチ業務	投資開発部では、国内外株式や債券、資産配分の計量分析による運用戦略の開発が主な業務となっております。計量分析は、テーマ設定、データ作成、分析、考察、オピニオンという流れで進めてまいります。インターンの方々には、基本的な理論や背景の理解、分析スキルの習得を行いながら、7日間という限定された期間ですが、一つの検証結果をプレゼンテーションで提示して運用戦略開発に繋げることを目標といたします。各自のスキルに応じて適切なテーマに取り組んでいただきます。
		3名	2013/9/5(木)～9/13(金)	7日間		
D	クレジット調査部 債券運用部	4名	2013/8/22(木)～8/30(金)	7日間	クレジットアナリストのサポート業務ならびに債券運用のサポート業務（データ整理、分析等）	クレジットアナリストやファンドマネージャーからの解説・指導を受けながら、社債の投資推奨や投資アイデアの構築等を行い、クレジットアナリスト業務及び債券運用業務についての理解を深めます。また、投資戦略を決定する会議や日常のミーティング等に出席していただいたり、ファンドマネージャーから体験談を聞いたりする機会も設け、実際の雰囲気や社債運用業務の魅力を感じていただきます。最終的には個別銘柄の投資推奨に関するレポートの作成とそれに基づくプレゼンテーションの実施を目標といたします。